2025年2月27日

銀行や市役所の職員を騙った電話にご注意ください！！

バンキングアプリやインターネットバンキングによる不正送金が過去最多となっています。

特に、銀行や市役所の職員を騙った還付金詐欺が横行しており、バンキングアプリやインターネットバンキングにおいて、以下の2つの手口による不正送金が増えてきておりますので、ご注意ください。

① 電話でお客さまの口座番号、暗証番号に加え、振込やインターネットバンキングの申込に必要な一度限りの認証情報を聞き出し、犯人がお客さまに成りすまして不正送金を行う。
② お客さまを巧みに誘導し、お客さま自身に振込操作（不正送金）を行わせる。

どちらの手口においても､犯人はもっともらしく話しを進めていきますので､まずは知らない番号の電話には出ない、万一出た場合も一度電話を切って、お取引店、ご家族、または最寄りの警察等へ相談してから、対応をするようお願いいたします。

また､警察庁で作成した注意喚起リーフレットを添付しますので､こちらも併せてご覧ください。

出典：警察庁WEBサイト
https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/pdf/R6_Vol.15cpal.pdf

以　上

<お問い合わせ先>
山梨中銀ダイレクトマーケティングセンター
[電　　話]　０１２０－２０１８６２（ふれあいハローに）照会コード「９」
[受付時間]　月曜日～金曜日 9:00～17:00
（ただし、祝日・12/31～1/3は除きます。）

サイバー警察局便り

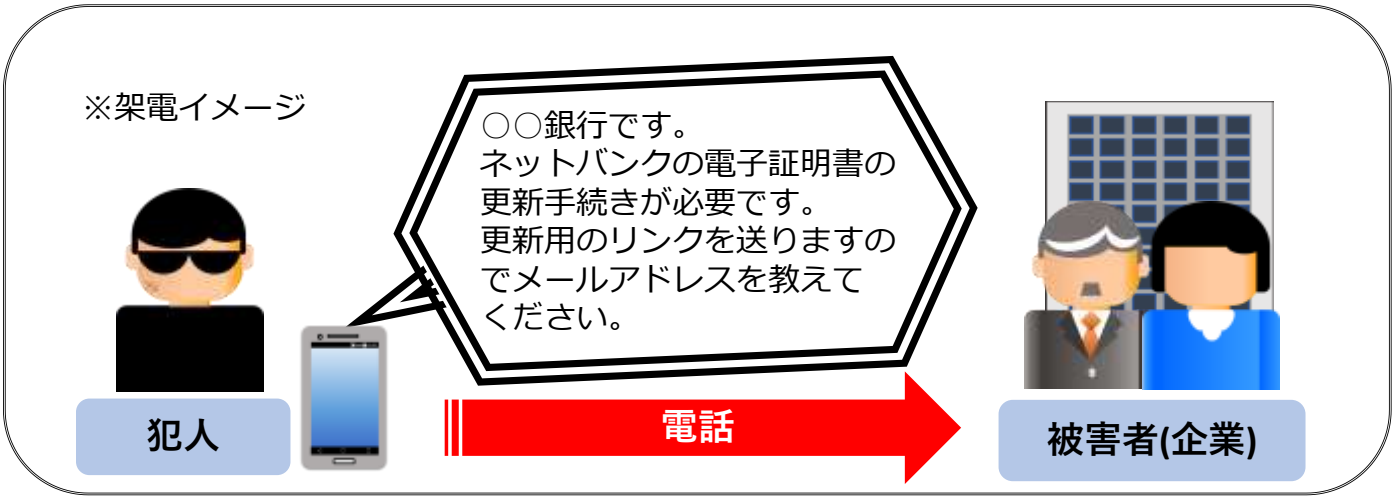
Cyber Police Agency Letter 2024(R6) Vol.15

今、企業の資産（法人口座）がねらわれている！！

電話に注意！「ボイスフィッシング」による不正送金被害が急増

【手口の概要】

1. 犯人が銀行担当者を騙り、被害者（企業）に電話をかけ（自動音声の場合あり）、メールアドレスを聞き出す。
2. 犯人がフィッシングメールを送信し、電話で指示しながら、被害者をフィッシングサイトに誘導。そして、インターネットバンキングのアカウント情報等を入力させて、盗み取る。
3. フィッシングサイトに入力させたアカウント情報等を使って、犯人が法人口座から資産を不正に送金する。



ボイスフィッシング被害に遭わないために！3つの対策

- **知らない電話番号からの着信は信用しない！**
- **銀行の代表電話番号・問い合わせ窓口で確認する！！**
  銀行担当者を騙る者から連絡があった場合には、銀行の代表電話番号へ連絡して確認するなど、慎重に対応してください。
- **メールに記載されているリンクからアクセスしない！！！**
  インターネットバンキングにログインする場合は、銀行公式サイトや公式アプリからアクセスしてください。

もしも、被害に遭ってしまったら警察に通報・相談を！

最寄りの警察署又はサイバー犯罪相談窓口 https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html

JBA 一般社団法人 全国銀行協会　金融庁 Financial Services Agency　警察庁 National Police Agency　JC3 日本サイバー犯罪対策センター